

まち&街

NPOニュース No.7
2022年6月



発行：NPO法人 鹿島田・新川崎まちづくりの会

理事長：大野彰 連絡先：佐藤好行 080-1225-6411

開かずの踏切 鹿島田駅踏切は少し改善

3月のダイヤ変更で朝8時台の列車本数が1本少なくなり、川崎市の調査によると1時間あたりの踏切が閉まっている時間が、55分から51分に改善したとのことです。

1時間に40分以上が「開かずの踏切」なので解消までには程遠い状態です。平日8時台の上り列車は19本、下り列車は22本もあり、一時間に列車が41本も踏切を通過します。コロナ禍でテレワークが進むと通勤時間帯の列車本数をもっと減らせるかも知れません。

向河原、年末には「賢い踏切」に

5月20日JR東日本ニュースによると、向河原駅前踏切の下り列車に対する「賢い踏切」の導入工事により踏切警報時間の短縮を図るとのことです。「賢い踏切」は通過列車と停車列車に対して別々の警報開始点を設けることで踏切警報時間を短縮するものです。導入時期は今年の12月頃で朝の通勤時間帯で1時間当たり数分短縮を見込んでいます。平間駅には昨年2月に「賢い踏切」が導入され、ピーク時の遮断時間52分が45分程度に短縮する効果をあげました。

鹿島田駅は貨物列車が問題？

鹿島田駅前踏切にも平間のような「賢い踏切」を導入して欲しいと、JR東日本に要望しましたが、「上りホームと踏切までの距離が近いため、導入できない」との話でした。一方、鹿島田は快速も停車するので列車が近づいてから踏切を閉めても良さそうです。これは一日に数本通過する貨物列車に警報開始点を合わせているためと思われます。この際、貨物列車も鹿島田駅に停車することにしたらどうでしょうか？何とか改善してもらいたいものです。



共同のまちづくり

みんなの願い、声を大切にして

安心してすごせる街をつくりたい!

味の素社宅 解体工事が始まりました

鹿島田の味の素社宅の解体工事が5月6日に始まり、9月末日に完了する予定です。
近隣住民の申し入れで説明会が4/25開催、約20名の参加で不安や要望が出されました。

近隣住民の要望で工事方法に配慮もされました



- * 害虫駆除剤が外に出ないか心配 ⇒ 全て建物内に設置し、約2週間後に回収します
- * アスベストの飛散が心配 ⇒ 壁面や天井面を覆う他、環境測定を全6回実施します
- * 北側道路のゴミ置場は継続して利用可能か? ⇒ マンション新築工事の着手までは可能
- * 保育園の昼寝時間に配慮を ⇒ 12-13時は昼休み、14時までは軽作業に努めます
- * 工事車両出入口近くの桜の木は残して欲しい ⇒ 当面の間は現在のままとします

《7月23日(土)まちづくり講演会のご案内》

人間の顔をしたまち ---人と地域をつなぐ南武線に---

日時: 7月23日(土)午後2時~4時

場所: 鹿島田地域の会場を予定

(新川崎・鹿島田周辺整備事務所など)

参加費: 500円 (高校生以下は無料)

最初の15分: コーラスサークル「まあ〜どれ・さいわい」

講師: 池上洋通氏 NPO法人多摩住民自治研究所理事

「人間の顔をしたまちをどうつくるか」著者

--- 2022年度かわさき市民公益活動助成金事業 ---



街のつづやき

私は昔、新鶴見操車場で働いていました。操車場は広く長さも尻手駅から平間駅まで有り10数カ所ある職場にはそれぞれの駅から通います。私は鹿島田駅から行く職場でした。坂の上から行き先別にバラバラに滑走してくる貨車に飛び乗り止まっている貨車にブレーキをかけてそうっと連結させる仕事でした。危険な作業でした。炎天下、暗い夜間、雨の日はなおさら大変でした。帰り道では片岡屋という立呑によく寄ったりしました。1984年に操車場は廃止となりました。今マンション街となっている新川崎駅付近をみて20歳代のそんな日々が懐かしくなります。N記